

事務事業名	定例市議会CATV事業		所属部局	議会	単位番号	1021				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	議会事務局	課長名	清水 栄男				
			所属担当		担当者名	村松 直樹				
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 01	項 01	目 01	細目 030	細々目 07
政策	計画	03 市民参加システムの構築	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	体系	05 市政への直接参加システムの構築								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H15 年度) ~ (年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	なし						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 H24年度事業名: 定例市議会番組制作事業 H24年度市議会の市長あいさつ及び代表・一般質問等を収録編集した後、CATV加入世帯を対象に有線放送を利用して行政自主番組を放送している。 H24年度事業名: 定例市議会番組制作事業 H24年度所管換: 秘書課 → 議会事務局			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) その他委託料 1,720 計 1,720						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容: CATVにより定例会を放映する。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない
	27年度活動予定: CATVにより定例会を放映する。		名称 単位 ア 年間の市議会収録回数 回 イ CATV加入世帯数 世帯 ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民(CATV加入世帯)	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない
			名称 単位 ア 定例会開催数 回 イ 代表・一般質問数 数 ウ 議案数 案件
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	映像を使うことで、議会がどのように行われているか、またどんな質問等が行われているのかなど、市民が状況等の判断ができ、また視覚障害者や高齢者など文字を読むことが困難な方たちにも市議会の様子を伝えられ、大勢の市民に情報提供することが出来る。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない
			名称 単位 ア 年間の放送回数 回 イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	議会活動(定例会、臨時会)の視聴を通して、議会活動ばかりでなく、市政についても興味、関心の醸成を図る。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない
			名称 単位 ア CATVを見て傍聴に来た割合 % イ 議会放送の視聴により、市政への理解を深めた者 人

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	756	1,671	1,720	1,717	1,717	1,717	
		事業費計(A)	千円	756	1,671	1,720	1,717	1,717	1,717	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	0			
		延べ業務時間	時間	4	4	4	0			
		人件費計(B)	千円	18	18	18	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	774	1,689	1,738	1,717	1,717	1,717	0
	活動指標	ア 回		4.0	4.0					
		イ 世帯								
		ウ								
	対象指標	ア 回								
		イ 数								
		ウ 案件								
	成果指標	ア 回								
		イ								
		ウ								
	上位成果指標	ア %								
		イ 人								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前の旧白根、榎形の時から議会中継は放映されていた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	特に変化なし 一部議員からは、HPでの動画掲載を要望する声があるが、予算面など財政サイドとの協議が必要
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	傍聴に行かなくても市政課題や施政方針、議員活動等々の様子が分かる。との声がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	カメラの設置場所を午前、午後と変更し、執行部、議員共に議会出席者を満遍なく撮影することにより、議会全体の雰囲気や議論の様子が視聴者に伝わり、改革改善に取り組んだ。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	なし。

事務事業名	定例市議会CATV事業	所属部	議会	所属課	議会事務局
-------	-------------	-----	----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 定例議会の模様をCATVを通じて市民へ発信することにより、市政及び市議会へ関心を持ってもらうことができる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 議会を傍聴しに來れない市民に対し、議会の模様を発信するのは、市の役目であるため、公共関与は妥当である。ただし、この事業の有益性は別である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市政方針や議会活動を市民に伝える周知媒体として一躍を担っているため、今後の維持、継続は妥当であると考え。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 映像編集や視聴率調査等が可能な機器を設置するなどの取り組みにより、効率性や有効性の観点より成果の向上余地が判断可能であると思うが、機器設置には予算増が伴うため、今の現状においては成果の向上余地は見込めない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) 市議会広報事業 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 定例議会の内容を周知する点では同じだが、広報媒体が違うので統合はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 各定例会の審議状況等、市議会活動を映像をとおして知ってもらうことが不可能となり、市政への関心もおお一層、薄れてしまう。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 放映に関して、最低限必要な予算額となっているため、削減余地は見込めないと考え。
公平性 評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ほとんど人件費がかかかっていないため。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 CATVでの放映という点から、未加入者は視聴できないという公平性に欠ける部分はある。また、4つのCATV会社を経由することから、放映日時や回数が統一できずにいる。課題に対する解決案が見出せない。現状においては、広く情報を提供している点を考えれば公平性があると判断しても良いと考えている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効果的な議会情報の提供を図る。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑦	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑦																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					